

3月3・4日の中央行動、325名が参加 556名の議員に要請、新たに9名が紹介議員に

日本医労連は3月3・4日の両日、中央行動を実施し、全労連・国民春闘共闘委員会の行動に参加するとともに、国会議員要請行動、政府等への交渉などをおこないました。全体で6全国組合46都道府県医労連から301人、書記局24人を含め、325名が参加しました。

星陵会館で日本医労連の意思統一集会では、まず田中千恵子日本医労連中央執行委員長が開会挨拶し、連帯あいさつでは、大黒国民春闘共闘、全労連議長から日本医労連に対し、春闘での奮闘を期待すると激励を受けました。

続いて、相澤書記長が2011春闘で16日の回答指定日の団交、翌日17日の全国統一行動日への結集を呼びかけるとともに、大幅増員の運動は、署名を200万筆かならず達成させ、社会的な世論を構築すること、地方議会での意見書採択運動を旺盛に展開し、国会請願を採択をめざすこと、さらに組合員拡大の課題でも、すべての組合が新人加入100%の課題をやり遂げ、定期大会では、かならず過去最高を突破しようと呼びかけました。集結集会の後、国会議員要請行動をおこない、夕方まで奮闘し結果、衆参556名の議員を訪問して要請するとともに、新たに9名の議員から増員・夜勤改善の国会請願署名の紹介議員承諾の回答をいただき、また、3名の議員から賛同回答されるなど積極的な反応があり、紹介議員への署名提出も10名の議員に行いました。なお、星陵会館での集会には来日中の韓国保健労組から連帯の挨拶をうけました。



署名をいっそう広げようと訴える田中千恵子委員長(3月3日：星陵会館で)

署名数402,087名、集約スピードアップを

増員・夜勤改善署名の到達点は、3月9日現在で、402,087筆となっています。また、署名集約数と組合員1人あたりの比率ベスト5は下記のようになっています。日本医労連は4月と5月にも国会行動をおこない、



請願採択をめざしますが、集約のスピードアップが必要です。

署名数ベスト5

①愛知	50,667
②全厚労	48,684
③全医労	21,898
④東京	21,266
⑤岡山	20,282

組合員比率ベスト5

①国共病組	7.66
②岡山	5.09
③福井	4.69
④愛知	4.63
⑤岐阜	4.47

